

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 7月20日更新

事務事業名	シルバー人材センター運営支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	可徳 精至
	施策	16	高齢者の自立と社会参加の促進			所属課	高齢者支援課	担当者名	米澤 伸仁
	基本事業	48	高齢者の働く場の提供			所属班	高齢者保険班	(内線)	2144
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律 合志市健康福祉補助金等交付要		
	一般	3	1	4	10447		成果優先度評価結果	①	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<p>○合志市シルバー人材センターの運営を支援するため、運営に要する経費の一部を補助する。</p> <p>○老人福祉法第3条第2項(基本的理念)、高齢者等の雇用の安定等に関する法律第40条(国及び地方公共団体の講ずる措置)に基づき補助する。</p> <p>○シルバー人材センターを設置する市町村として、社団法人熊本県シルバー人材センター連合会に負担金(賛助会費)を納入する。</p> <p>○平成9年シルバー人材センター設立。平成19年社団法人となる。平成24年公益社団法人へ移行予定。</p> <p>○「団塊の世代」が第2の就職を終えて年金受給開始年齢に達することから、シルバー人材センターへの会員登録が増加すると見込まれる。</p>
【業務の流れ】	<p>【補助金】①事業計画承認申請審査(補助金内示通知) ②補助金交付申請審査(補助金交付決定通知) ③補助金概算 払申請審査(支払(2回)) ④補助事業実績報告審査(補助金交付確定通知・概算払精算手続き)</p> <p>【その他】①理事会への出席(年4回) ②総会への出席(年2回)</p>
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金(負担金・補助金)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	○センターから、事務所移転について市の協力をお願いしたいとの話がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
【補助金】①事業計画承認申請審査 ②補助金交付申請審査 ③補助金概算払申請審査・支払(2回) ④補助事業実績報告審査	23年度と同じ
【その他】①理事会への出席 ②総会への出席	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア シルバー人材センター受注件数	件 国補助金の運営費補助単価限度額の引下げによる補助金の減。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
(社) 合志市シルバー人材センターの会員	(単位) ア シルバー人材センター会員数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
収入が確保される	(単位) ア 就業実人員 人
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
シルバー人材センター会員のうち、年間を通じて1回以上就業し収入を得た就業実人員とした。シルバー人材センターの平成24年度就業率の目標値は100%であるため。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度 実績(決算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	25年度 予定	26年度 見込	27年度 見込	
① 活動指標	ア 件		2,552	2,846	2,750	2,929	3,000	3,000	3,000	3,000	
	イ										
② 対象指標	ア 人		244	253	260	227	250	250	250	250	
	イ										
③ 成果指標	ア 人		209	225	234	205	250	250	250	250	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	2,753							
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	5,508	8,261	8,391	7,730	7,230	7,230	7,230	7,230
		(A)のうち指定経費	千円	8,261	8,261	8,391	7,730	7,230	7,230	7,230	7,230
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	130	130	130	130	130	130
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	75	95	75	45	45	45	45	45
(B)人件費計		千円	298	391	309	181	185	185	185	185	
トータルコスト(A)+(B)		千円	8,559	8,652	8,700	7,911	7,415	7,415	7,415	7,415	

事務事業名	シルバー人材センター運営支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 会員数の増加にあわせ就業実人員も増加を見込んでいたが、22年度実績から会員数が26人減少したことにより、就業実人員も20人減少したため23年度目標値を達成しなかった。ただし、就業率は0.7%伸びており、シルバー人材センターの23年度目標値90%は達成している。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 減少した会員数を回復するほどの大幅な会員増加は見込めないことから24年度目標達成は厳しい。 なお、毎月15日を入会説明会の日とし入会促進が図られている。今後も入会説明会の周知方法を検討・改善し説明会参加者を増やし、会員増加につなげるよう計画されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒【理由】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 厳しい経済状況の中、雇用情勢も厳しさが続いており、高齢者の就業を通じた社会参加に際しては就業機会を提供するシルバー人材センターは、より厳しい事業運営となっていることから向上余地がない。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 国庫補助金の大幅な削減によるセンターの財務運営面での厳しい状況もあることから削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 補助金交付事務に係る必要最少の業務時間数である。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 高齢者等の雇用の安定等に関する法律第40条(国及び地方公共団体の講ずる措置)に基づき定年退職者等で就業を希望する者についてその希望に応じた就業の機会を提供する団体への補助金の交付は、受益機会において公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 定年退職者等で就業を希望する者についてその希望に応じた就業機会を提供する団体の育成は、高齢者等の雇用の安定等に関する法律第40条(国及び地方公共団体の講ずる措置)に定められた行政の講ずる措置であり役割分担は適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

23年度から運営費補助単価限度額の大幅な引下げ(8,400千円⇒7,100千円)に伴う国庫補助金の削減が決定されたことから、合志市シルバー人材センターからは市補助金の削減をしないよう要望書が市長に提出された。23年度の市補助金申請額は7,600千円(22年度比△661千円)であり同額を交付した。
本所・支所体制を本所体制とし、かつ会員の就業環境を良くするため市総合運動公園クラブハウスへのセンター事務所移転計画が進められていたが、都市計画法の規定により事務所への用途変更ができないことが判明したため計画は中止された。今後も移転の検討は続けられる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						